

CyberLink

InstantBurn

5

User's Guide

使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文の End User License Agreement ('EULA') の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意識されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧頂きたくお願いいたします。

End User License Agreement (EULA) : 使用許諾契約書

当製品（以下「本ソフトウェア」という）の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書（以下「本契約書」とする）をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）と CyberLink Corp.（以下「サイバークリンク」といいます）との間に締結される法的な契約書となります。

ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

使用権の許諾

サイバークリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物（以下「関連印刷物」といいます）の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などはできないものとします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーリンクに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利はすべてサイバーリンクによって留保されます。

アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の著作権は本ソフトウェアの著作権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

保証及び責任の限定

サイバーリンクは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーリンクは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。

本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします。

Copyright and Disclaimer

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise without the prior written permission of CyberLink Corporation.

To the extent allowed by law, InstantBurn IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY WARRANTY FOR INFORMATION, SERVICES, OR PRODUCTS PROVIDED THROUGH OR IN CONNECTION WITH INSTANTBURN AND ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, EXPECTATION OF PRIVACY, OR NON-INFRINGEMENT.

BY USING THIS SOFTWARE, YOU AGREE THAT CYBERLINK WILL NOT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL LOSS ARISING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE OR MATERIALS CONTAINED EITHER IN THIS PACKAGE.

The terms and conditions here under shall be governed and construed in accordance with the laws of Taiwan.

InstantBurn is a registered trademark along with other company and product names mentioned in this publication, used for identification purposes and remain the exclusive property of their respective owners.

Copyright (R) 2004 CyberLink Corporation. All rights reserved.

Contents

1

基礎編 1

主な特徴	2
バージョン情報の確認について	4
UDF1.50 と UDF2.00/2.01/2.50 の違いは？	5
制限および注意事項	6
動作環境	9

2

InstantBurn の使い方について 11

InstantBurn を使用する上で知っておきたいこと	12
メディアをフォーマット	14
データをコピーしてみまし	15
メディアを取り出す	18
各種メディアにおける取り扱いの違いについて	21
プロパティシートの使い方	28

テクニカル サポート 33

Web のサポート	34
ファックスのサポート	35
電話によるサポート	36

Chapter 1:

基礎編

このたびは、InstantBurn をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本ヘルプの基礎編では、本製品の主な特徴とインストール方法、基本的な使い方を、応用編では詳細な使い方について説明しています。ご使用の前にぜひご一読いただくことをお奨めします。

お断り

- 本ヘルプは、本ヘルプ作成時のソフト及びハードウェアの情報に基づき作成されています。その後のソフトウェアのバージョンアップ等により、記載内容とソフトに搭載されている機能が異なっている場合があります。適宜、補足マニュアルや補足説明文が追加されますので、それもあわせてご覧ください。また、本ヘルプの内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複製、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。
- 本ヘルプの内容については、万全を期して作成していますが、万一わかり難い点や記載漏れ、誤記などがございましたらご連絡ください。
- MS-DOS および Windows は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、このヘルプに記載されている社名、商品名は、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

主な特徴

InstantBurn の主な機能：

柔軟な使用環境を実現

さまざまなドライブに対応し、ファイル／フォルダ単位での追記を実現

InstantBurn は、フォルダやファイル別にデータを CD、DVD、Blu-ray ディスク、または HD-DVD ディスクに、Explorer と同じ形式で書き込み、フロッピーや他のリムーバブル ディスクのように簡単に使用できるディスクを作成することができます。ディスクが一杯になるまで書き込んだり、不必要なファイルやフォルダをごみ箱にドラッグ&ドロップして削除することができます。

対応メディア：CD-RW/CD-MRW/DVD-RW/DVD+RW/DVD-RAM/BD-R/BD-RE/HD DVD-RAM。

さまざまな規格に対応し、幅広い用途を提供

新規格・新機能に対応

対応ドライブでご使用いただくことにより、次世代パッケージライターの規格である「CD-MRW」(マウントレイニア) や、DVD+RW メディアのフォーマットがより高速に行える「DVD+RW クイックスタート」に対応しています。

世界標準 UDF (UniversalDiskFormat) Version 1.50 と 2.00/2.01/2.50 に対応

InstantBurn は、世界標準のファイルフォーマットである UDF 形式の、バージョン 1.50 に対応し、さらに新しい形式である UDF2.00/2.01/2.50 での記録にも対応いたしました。

64-ビットオペレーティングシステムおよび 64-ビット CPU をサポート

InstantBurn は 現在、64-ビット オペレーティング システムと 64-ビット CPU をサポートしています。

バージョン情報の確認について

InstantBurn のバージョン情報の確認は、次の手順で行います。バージョン情報は、サポートセンターに問い合わせを行う場合やソフトウェアをアップデートする上で重要な情報です。

タスクトレイに常駐した InstantBurn のアイコンを右クリックし、メニューから**バージョン情報**を選択します。

UDF1.50 と UDF2.00/2.01/2.50 の違いは？

InstantBurn では DVD メディアのフォーマット時、バージョン選択項目が表示されます。通常は互換性に優れた UDF1.50 でご使用ください。各バージョンには以下の特徴があります。

UDF 1.50	InstantBurn までで使用されているバージョンで、パッケージライトソフト向けに、ライトワンスやリライタブルを規定した規格です。UDF1.02 から実装された代替セクタ処理機能も追加されています
UDF 2.00	UDF Version 1.50 にファイル属性の対応を加えた規格で、DVD フォーラムで規定されたリアルタイム録画用のフォーマット DVD Video Recording Format(DVD-VR)で使用されています。InstantBurn では DVD-VR の DVD-Video は作成できません。
UDF 2.01	UDF Version 2.00 のリファイン版で、DVD Stream Recording (DVD-VR) で将来使用される予定です。
UDF 2.50	UDF のこのバージョンでは、メタデータのクラスタリングを容易にするメタデータパーティションのサポートとファイルシステム情報の複写オプションを追加しました。Windows XP および Windows の以前のバージョンのデフォルトでは UDF 2.50 をサポートしていません。

制限および注意事項

InstantBurn をご使用前に必ずお読みください

インストールと互換性に関する注意事項

- InstantBurn は、サードパーティのポケット書き込みソフトウェアを使用しているコンピュータで使用できません。
- ネットワークドライブを割り当てないでください。
- 省電力機能に対応していません。常に電源オンの設定にしてください。

Windows 2000 に関する制限 および 注意事項

- デジタル音楽 CD の設定を OFF にしてください。

Windows XP に関する制限 および 注意事項

- 複数ユーザーによる 同時使用はできません。
- InstantBurn にて “CD-ROM/DVD-ROMドライブで読める” 形式で取り出し処理を行った CD-R / DVD-R メディアを、Windows XP で CD-ROM / DVD-ROM メディアとして正常に読み出すことができません(ただし InstantBurn がインストールされている環境であれば CDFS で読み出すことが可能です)。
- IME のツールバーを最小化してご使用ください。
- OS 標準の CD 書き込み機能とは互換性がないので、CD または DVD のプロパティから CD 書き込みを無効にしてください。

Windows 98 / Me 環境でアンインストールに関する注意事項

- InstantBurn をアンインストール際に共有プログラムファイル項目で“CDRBSVSD.vxd”の消去をするかどうかの確認ダイアログが表示されますが、Power2Go 4.0 またはそれ以前のバージョンをインストールしている場合は、このファイルを削除しないでください。

InstantBurn でフォーマットを行う前に必ずお読みください

InstantBurn では、パケットライティングと呼ばれる方式で書き込みを行うために、メディアをUDF（ユニバーサル・ディスク・フォーマット）と呼ばれる形式でフォーマットします。InstantBurn でフォーマットしたメディアは、Power2Go などのプリマスタリング形式のライティングソフトウェアでは使えません。フォーマットを実行する前に、どのソフトウェアで書き込みをおこないたいのか、どのような CD / DVD を作成したいのかをご確認ください。なお、CD-RW、DVD-RW、DVD-RAM、DVD+RW、BD-RE、HD DVD-RAM 等書き換え・消去が可能なメディアについては、「InstantBurn Erase Tool」を使用して「消去」することによって、ライティングソフトウェアで使用可能な状態になります。

その他の注意事項

- ご使用のバージョンによっては、再書き込み可能なメディアといくつかのライトワンスメディアをサポートしています。CD-RW / DVD-RW / DVD+RW / DVD-RAM / BD-R / BD-RE / HD DVD-RAM メディアのみがご使用になれます。
- 空き容量が少ない場合はメディアの取り出し処理が出来ない場合があります。
- サスペンドモードを行う場合は必ず、メディアを取り出してから実行してください。

- パソコンの電源を切られる際は、あらかじめメディアを取り出してください。メディア情報が損傷し、読み出せなくなる場合があります。
- InstantBurn はデータ記録専用のソフトです。音楽 CD や DVD-Video を作る機能は持っていませんのでご注意ください。次項「InstantBurn でフォーマットを行う前に必ずお読みください」を併せてご確認ください。
- ディスクのイジェクト時に「CD-ROM (DVD-ROM) で読めるようにする」を選択した場合、ディスクをコンピュータで認識することができます。しかし、ご使用の環境や DVD-ROM ドライブ、または他社製のパケットライトプログラムの互換性問題により、ディスクを使用することができない可能性があります。

動作環境

動作環境は、プログラムを実行するための最小動作環境です。

動作環境	
OS	Windows98/98SE/Me/2000/XP の各日本語版
CPU	インテル Pentium II 300MHz 以上
メモリ	32MB（推奨 64MB 以上）
ハードディスク空き容量	本ソフトウェアをインストールするために、約 15MB のハードディスクの空き容量が必要
画像モード	SVGA（800 × 600）以上の解像度のビデオカードとモニタ、16bit 以上のシステムカラー
対応ドライブ	本ソフトウェアが対応している CD-RW/DVD/Blu-ray/HD DVD 及び記録型 DVD が必要です。対応ドライブは、随時更新されています。対応ドライブ一覧については、弊社ホームページ（ www.cyberlink.com ）上でも案内しています。

Chapter 2:

InstantBurn の 使い方について

本書は、CyberLink InstantBurn program. の使用方法について説明しています。
. ディスクのフォーマット、書き込み、消去などについて説明しています。

InstantBurn を使用する上で 知っておきたいこと

フォーマット	InstantBurn を使用して書き込みを行うためには、FDD や MO などを使用する場合と同様に必ずメディアをフォーマットする必要があります。
読み出し	CD-RW、DVD-RW/+RW、BD-RE、HD DVD-RAM メディアを使用する場合は、Windows 9x/Me 環境に限り InstantBurn の専用リーダーソフトをインストールすることで読み出しを行えます。
空き領域	CD-RW 及び DVD-RW/+RW、BD-RE、HD DVD-RAM メディアを使用した場合は、空き領域が増加します。
メディアの消去	InstantBurn でフォーマットした CD-RW 及び DVD-RW/+RW、BD-RE、HD DVD-RAM メディアをプリマスタリングソフトで使用するためには、Erase Tool にてメディアの消去を行う必要があります。詳しくは Erase Tool の項目をご覧ください。
メディアの取り出し	マウントされたメディア（フォーマット済みのメディアをドライブに挿入している場合は、ドライブのイジェクトボタンを押しても取り出すことができないことがあります。必ずタスクトレイに常駐した InstantBurn のアイコンからメディアの取り出しを行ってください。
制限	Windows 9x/Me で使用する場合、容量が 2GB を超えるファイルはコピーなどできない場合があります。Windows 2000/XP では、この制限はありません。その他の制限は「制限および注意事項」をご参照ください。

その他

他社製のライティングソフト、パケットライトソフトとは、共存できません。InstantBurn をインストールする前に必ず、アンインストールしてください。

メディアをフォーマット

メディアのフォーマットには、メディア全体の物理フォーマットを行う完全フォーマットと、ファイル情報を消去し見かけだけのフォーマットを行う通常フォーマットの2種類があります。完全フォーマットは、フォーマットに長い時間が必要ですが、初めて使用する場合は必ずこのフォーマットを行う必要があります。通常フォーマットは、一度フォーマットを行ったメディアに対してのみ行えます。CD、DVD、BD、HD DVDのフォーマットは、次の手順で行います。


1. メディアをドライブに挿入します。タスクトレイに常駐した InstantBurn のアイコンを右クリックし、メニューから**フォーマット**を選択する。フォーマッタが起動したら**次へ (N)** をクリックしてください。
2. フォーマットを行うドライブを選択し、**次へ (N)** をクリックします。
3. メディアのプロパティを確認したい場合は**プロパティ (P)** をクリックしてください。よろしければ、**次へ (N)** をクリックします。
4. ボリュームラベルを入力し、**完了**をクリックします。フォーマットが始まります。

Note: 一度フォーマットしたメディアでは、通常フォーマットか完全フォーマットのいずれを行うか選択できます。通常フォーマットは完全フォーマットより短時間で処理が終了します。

5. フォーマットが終了するとメディアがマウントされます。**OK** をクリックしてください。

データをコピーしてみまし

このような手順でご使用いただけます

はじめに、画面右下のタスクトレイに  のアイコンが表示されているかを確認してください。

1. メディアをフォーマットしたいドライブを選択してください。
通常はそのまま**次へ (N)>** を押してください。

Note: InstantBurn に対応したドライブが複数台つながっていれば、それらも表示されます。必要があればそちらを選択して**次へ (N)>** を押してください。

2. メディアの状態が表示されます。このまま**次へ (N)>** を押してください。

Note: プロパティ (P) ボタンで設定できる内容については、プロパティシートの使い方をご参照ください。



3. 必要に応じ、ボリュームラベル（メディアにつける名前）を決めてください。通常はこのまま**完了**を押してください。ボリュームラベルは後からの変更も可能です。

Note: ボリュームラベル（メディアにつける名前）は、半角 11 文字、全角 5 文字以内で設定してください。スペースは使用できません。

Note: DVD メディアの場合「UDF バージョン」という項目が表示されますが、特に必要がない限り、通常は互換性に優れた UDF1.50 でご使用ください。UDF1.50 と UDF2.00/2.01/2.50 の違いは？をご覧ください。

4. 確認画面が表示されます。InstantBurn でフォーマットして良い場合は、**OK** を押してください。

Note: InstantBurn でフォーマットされたメディアは、書き換え可能なメディアを除き Power2Go 等ライティングソフトウェアではご使用いただけません。

5. フォーマットが終了しメディアがマウントされます。OK を押し
てください。タスクトレイの  が  に変われば準備 OK で
す！
6. 上記 5 の画面を閉じたあとは、いつでもフォーマットされた
ディスクに対しデータをコピーいただけます。

データコピーの手順（一例）については、次項からの内容をご参照
ください。

基本的には、フロッピーディスクや MO を扱うのと同じ感覚でご使
用いただけます。

また、InstantBurn でマウント中のメディアは、データ保護のために
ボタンで取り出しできなくなっている場合があります。

メディアを取り出される際は、「メディアを取り出す」の手順にした
がって取り出してください。

それでは、データをコピーしてみましょう (以下の手順は一例です)

1. マイコンピュータを開いて、コピー先になる CD または DVD のア
イコンを表示させましょう。
 - Windows XP の場合 - スタートからマイコンピュータをクリックして
ください。
 - その他の Windows の場合 - デスクトップにあるマイコン
ピュータをダブルクリックしてください。


マイコンピュータを開くと、ウインドウの中に CD または DVD のア
イコンが表示されます。

2. 上記 1 で表示させた CD または DVD のアイコンが隠れないよう
に、コピーしたいファイルを表示させてください。
3. データのコピーを行ってみましょう。
 - コピーしたいファイルの上でマウスの左ボタンを押したまま
...

- そのまま CD または DVD のアイコンまでマウスを動かして…
 - マウスの矢印を CD または DVD アイコンの上に重ねたら、左ボタンから手を離してください。
4. するとコピーが始まり、あとどれくらいでコピーが終わるかが表示されます。
 5. データがコピーされたかどうかは、CD または DVD のアイコンをダブルクリックで開くとわかります。

コピーしたファイルが入っていたら、正常にデータがコピーされま

では、メディアを取り出してみましょう

1. タスクトレイの  の上で右クリックして、**取り出し (J)** をクリックします。
2. メディアの種類によってはそのままメディアが出てきますが、以下のような画面が出る場合があります。
 - CD-MRW で、バックグラウンドフォーマットが終了していない場合
 - DVD-RW の場合または DVD+RW メディアでバックグラウンドフォーマットが終了していない場合
3. いずれも「このまま取り出す。」の状態では **OK** を押すとメディアが出てきます。
 - パソコンの電源を切られる際は、必ずメディアを取り出しておいてください。
 - 再度同じメディアに書き込みする場合は、メディアを入れて

タスクトレイの  が  になれば準備 OK です。

- ファイル ブラウザのディスク ドライブ アイコン上で右クリックし、「このまま取り出す」選択したように、「**取り出し**」を選択してディスクを取り出すことができます。

メディアを取り出す

InstantBurn で書き込んだメディアは、次の手順で取り出します。メディアを InstantBurn がインストールされていないパソコンでも読み出しが行えるようにする設定はここで行います。

Note: バックグラウンド フォーマット機能は、BD-RE および HD DVD-RAM ディスクでは利用できません。

CD-RW の場合

タスクトレイに常駐した InstantBurn のアイコンを右クリックし、メニューから**取り出し**を選択します。

CD-MRW の場合

CD-MRW の場合は、バックグラウンドフォーマット中と終了後で動作が異なります。通常は、タスクトレイに常駐した InstantBurn のアイコンを右クリックし、メニューから**取り出し**を選択してください。バックグラウンドフォーマットが終了していない場合は、下記の画面が表れます。OK を押して 1 分ほどお待ちください。

DVD-RW/DVD+RW の場合

DVD+RW メディアの場合は、クイックフォーマット（バックグラウンドフォーマット）中と終了後で動作が異なります。通常は、タスクトレイに常駐した InstantBurn のアイコンを右クリックし、メニューから**取り出し**を選択してください。

DVD-RW/DVD+RW のメディアの取り出し方

このまま取り出す 次回も InstantBurn を使用してデータを書き込む場合はこちらを選択します。ただし、この状態で取り出したメディアは、InstantBurn が使用できるパソコンでしか読み出しを行えません（この設定は DVD-RW/DVD+RW メディアで共通です）。

DVD-ROM ドライブで読めるようにする（再書き込み可能） DVD-RW/DVD+RW メディアを取り出し後、InstantBurn がインストールされていないパソコンでも読み出せるようにするにはこちらを選択します。次回も InstantBurn を使用してデータを書き込むことができます。

DVD-RAM の場合

DVD-RAM のメディアの取り出し方

このまま取り出す 次回も InstantBurn を使用してデータを書き込む場合はこちらを選択します。ただし、この状態で取り出したメディアは、InstantBurn が使用できるパソコンでしか読み出しを行えません（この設定は DVD-RAM メディアで共通です）。

BE-R/BD-RE の場合

BD-R/BD-RE のメディアの取り出し方

このまま取り出す 次回も InstantBurn を使用してデータを書き込む場合はこちらを選択します。ただし、この状態で取り出したメディアは、InstantBurn が使用できるパソコンでしか読み出しを行えません（この設定は BD メディアで共通です）。

各種メディアにおける取り扱いの違いについて

InstantBurn は、使用するメディアの種類によって、フォーマットや、メディアを取り出す（イジェクトする）場合の処理の仕方が異なっています。ここでは、その違いをまとめておきます。

Note: InstantBurn の制限として、Windows 9x/Me で使用する場合、容量が 2GB を超えるファイルはコピーなど出来ない場合があります。Windows 2000/XP では、この制限はありません。

Note: Windows XP について、「CD/DVD-ROM で読めるようにする（再書き込み可能）」で取り出されたメディアが、OS 上で認識できない場合があります。

Note: Windows 9x/Me/2000 SP2 以前では DVD-R に対して「DVD-ROM ドライブで読めるようにする（再書き込み可能）」で取り出された場合、その後に記録されたデータは InstantBurn がない環境では参照できません。こちらは、第 1 ボーダーしか参照できないという、Windows 9x/Me/2000 SP2 以前の制限によります。

Note: DVD メディアについて、従来の UDF1.50 形式だけでなく最新の規格である UDF2.00/2.01/2.50 形式のフォーマットにも対応いたしました。通常は、互換性に優れた UDF1.50 形式での使用をおすすめします。

メディアについて

各種書き換え可能なメディアをフォーマットした場合、データが書き込める容量は物理的な容量よりも少なくなります。650MB の CD-

RW で約 530MB になり、4.7GB の DVD-RW/DVD+RW/DVD-RAM メディアでは約 4.3GB になります。

CD-RW	フォーマット処理	<p>ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットと、フォーマット済みメディアの再フォーマットができます。</p> <p>※1</p>
	取り出し処理	<p>取り出しを選択後、メディアはそのままイジェクトされます。</p> <p>このメディアは、InstantBurn が使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。</p>
CD-MRW (マウントレイニア)	フォーマット処理	<p>CD-MRW（マウントレイニア）対応ドライブで使用することができます。ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットと、フォーマット済みメディアの再フォーマットができます。</p> <p>※見かけ上、短時間でフォーマットが終了（1～3分）し、データを読み書きしていない間にフォーマットを行います。（バックグラウンドフォーマット）</p>
	取り出し処理	<p>バックグラウンドフォーマットが終了していない場合、「書き換え可能なメディアを取り出すにはトラック、セッション情報を書き込む必要があります。よろしいですか」のダイアログが表示されます。この場合はOKを押して1分程度待つとメディアがイジェクトされます。バックグラウンドフォーマットが終了している場合は、そのままイジェクトされます。</p> <p>このメディアは以下の環境で取り扱いが可能です。</p> <p>再挿入後、InstantBurn が使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。</p>

DVD-RW(QF) (クイックフォーマット)	フォーマット処理	<p>ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットとフォーマット済みメディアの再フォーマットができます。</p> <p>※見かけ上、短時間でフォーマットが終了（1～3分）します。</p> <p>データの書き込み時に必要な部分だけ、その都度フォーマットを行います。</p>
	取り出し処理	<p>・このまま取り出し メディアはそのままイジェクトされます。 InstantBurn が使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。</p> <p>・DVD-ROM で読めるようにする（再書き込み可）</p> <p>DVD-ROM や InstantBurn がインストールされていない環境で参照できるようにデータ形式を変換し、さらに InstantBurn が使用できる環境で追記が可能です。</p>
DVD+RW	フォーマット処理	<p>ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットと、フォーマット済みメディアの再フォーマットができます。</p>
	取り出し処理	<p>バックグラウンドフォーマットが終了していない場合は、以下のダイアログが表示されます。</p> <p>・このまま取り出し メディアがそのままイジェクトされます。 InstantBurn が使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。</p> <p>・DVD-ROM で読めるようにする（再書き込み可）</p> <p>DVD-ROM や InstantBurn がインストールされていない環境で参照できるようにデータ形式を変換し、さらに InstantBurn が使用できる環境で追記が可能です。</p>

DVD-RAM	フォーマット処理	ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットと、フォーマット済みメディアの再フォーマットができます。
	取り出し処理	・このまま取り出しメディアがそのままイジェクトされます。InstantBurn が使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。
BD-R	フォーマット処理	ブランク ディスクをフォーマットしたり、フォーマット済みのディスクを再度フォーマットすることができません。
	取り出し処理	・このまま取り出しメディアがそのままイジェクトされます。InstantBurn が使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。
BD-RE	フォーマット処理	ブランク ディスクをフォーマットしたり、フォーマット済みのディスクを再度フォーマットすることができます。
	取り出し処理	・このまま取り出しメディアがそのままイジェクトされます。InstantBurn が使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。
HD DVD-RAM	フォーマット処理	ブランク ディスクをフォーマットしたり、フォーマット済みのディスクを再度フォーマットすることができます。
	取り出し処理	・このまま取り出しメディアがそのままイジェクトされます。InstantBurn が使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。

Note: InstantBurn の制限として、Windows 9x/Me で使用する場合、容量が 2GB を超えるファイルはコピーなどできない場合があります。Windows 2000/XP では、この制限はありません。DVD メディアについて、従来の UDF1.50 形式だけでなく最新の規格である UDF2.00/2.01 形式のフォーマットにも対応いたしました。通常は、互換性に優れた UDF1.50 形式での使用をおすすめします。

バックグラウンドフォーマットについて

バックグラウンドフォーマットとは、InstantBurn のようなパッケージライティングソフトでメディアをはじめてフォーマットする場合に、物理フォーマット処理を大幅に短縮するための仕組みです。

対応した機器を使用すると、物理フォーマットをドライブ内部で管理し、書き込みや読み出しなどの処理が行われていない時間（空き時間）を利用してフォーマット処理を自動的に行います。もちろん、バックグラウンドフォーマット中でも、自動的にフォーマット処理を中断し、随時、読み出しや書き込みなどの処理を行うことができますので、フォーマットの時間を気にすることなく、作業が行えます。

バックグラウンドフォーマットは、マウントレイニア（CD-MRW）規格に準拠した CD-R/RW ドライブと DVD+RW 規格に準拠した記録型 DVD ドライブで使用することができます。

また、バックグラウンドフォーマットに対応した製品では、メディアの取り出し時の動作が、非対応のドライブを使用する場合と次のように異なっています。

DVD + RW メディアの場合

InstantBurn では、物理フォーマットが終了していないメディア（バックグラウンドフォーマットが終了していない状態）をドライブから取り出す場合には、次の 2 種類の中から動作を選択することができます。

（1）テンポラリリードアウトを書き込む

この状態で取り出す場合は、タスクトレイに常駐している InstantBurn のアイコンを右クリックし、**取り出し**を選択します（書き込み可能ドライブが1つしかない場合は、ドライブの選択項目はありません）。取り出し処理（約1分間）を行ったあとメディアが排出されます。

（2）テンポラリリードアウトがない状態で取り出す

この状態で取り出すには、エクスプローラからドライブを右クリックし、メニューから**取り出し**]を選択します。

Note: テンポラリリードアウトとは？ InstantBurn がインストールされていない環境で、InstantBurn フォーマットの DVD+RW メディアを認識するためには、リードアウトと呼ばれる情報が必要です。通常、リードアウトはメディア全面のフォーマットが完了した時点で自動的に記録されますが、フォーマット完了前に取り出した場合、「DVD-ROM で読めるようにする」を選択した場合は仮のリードアウトが記録されます。テンポラリリードアウトとはこのことを指しています。

CD-MRW（マウントレイニア）の場合

CD-MRW とはマウントレイニア（MRW）方式でフォーマットした CD-RW メディアのことを指します。CD-RW メディアをマウントレイニア方式でフォーマットするためには、InstantBurn の**プロパティの InstantBurn Page 設定にて、MRW フォーマット対応にする。（書き換え可能なメディア）**チェックボックスをオンにしてください。

マウントレイニア対応ドライブで CD-MRW を使用し、バックグラウンドフォーマットが終了していない状態でメディアを取り出すには、取り出し処理を行う必要があります。処理は、

1. タスクトレイに常駐している InstantBurn のアイコンを右クリックし、メニューから**取り出し**を選択する
2. エクスプローラからドライブアイコンを右クリックし、メニューから**取り出し**を選択する
3. ドライブのイジェクトボタンを押す

のいずれかで行えます（処理が開始されるまで時間がかかることがあります）。

メニューが表示されたら、**OK** をクリックし、処理を行ってください。

Note: CD-MRW とは？ CD-MRW（マウントレイニア）は、CD-RW パケットライトの使い勝手向上のために業界団体が作成した規格です。記録開始に必要な部分だけを始めにフォーマットしますので、フォーマットが1分程度で終了してすぐに書き込みが開始できます。また、ドライブを使用していない間にフォーマットを進めていく「バックグラウンドフォーマット」機能を備えているのも特徴です。この機能で書き出した CD-RW を使用するには、対応したドライブが必要です。

プロパティシートの使い方

InstantBurn は、プロパティシートという画面が用意されています。プロパティシートでは、InstantBurn を使用して書き込みが行えるドライブの各種設定や挿入されたメディアの情報を参照できます。ここでは、プロパティシートの使い方について説明します。

プロパティシートを表示する

プロパティシートは、タスクトレイに常駐した InstantBurn のアイコンを右クリックし、メニューから**プロパティ**を選択することで行えます。InstantBurn が対応しているドライブが複数接続されている場合は、ドライブ名を選択し、**プロパティ**を選択します。

Note: プロパティシートは、エクスプローラから表示させたいドライブを右クリックしてメニューから**プロパティ**を選択することでも行えます。また、全般に表示されている内容は、基本的に InstantBurn Page 全般と同じものが表示されます。

InstantBurn Page 全般について

プロパティシートには、**InstantBurn Page 全般**と **InstantBurn Page 設定**の2種類があります。**InstantBurn Page 全般**は、挿入されているメディアの情報を参照することができ、**InstantBurn Page 設定**では、各種設定を行うことができます。

ボリュームラベル

現在設定されているボリュームラベルが表示されています。入力可能な状態になっている場合は、新しい名称を入力することができます。入力を行ったら、**OK**または**適用**をクリックしてください。ボリュームラベルは半角 11 文字、全角 5 文字以内で設定してください。スペースは使えません。

種類

挿入されているメディアの種類を表示します。

ファイルシステム

挿入されているメディアが使用しているファイルシステムとそのバージョンが表示されます。InstantBurn で正常に認識されている場合は、「FS_UDF」と表示されます。末尾の数字は UDF のバージョンを示しています。

使用領域

データが記録されている容量を表示します。

空き領域

未使用領域を表示します。

容量

メディアの総容量（使用領域と空き領域の合計）を表示します。

DRT-DM を使用する（設定を有効にする場合、再起動が必要です）

DRT-DM は、書き込み中にメディアに付いたホコリや傷などによってエラーが発生したブロックがある場合、その部分をスキップし、安全な部分からもう一度データを書き込むことができます。この機能を選択した場合、コンピュータの再起動が必要になります。

Note: この設定は DRT-DM 対応ドライブのみで表示される設定項目です。

InstantBurn Page 設定について ドライブ設定の変更

InstantBurn Page 設定では、InstantBurn を使用するドライブの各種設定を行うことができます。設定できる項目には、次のものがあります。

InstantBurn 詳細設定

安全モード（書き換え可能なメディアで書き込み後コンペアする）

このチェックボックスをオンに設定すると、CD-RW や DVD-RW/ DVD+RW/DVD-RAM メディアを使用した場合に書き込みを行った後、正しくデータが書き込めたかどうかを検証するコンペア処理を行います。データの信頼性は向上しますが、コンペア処理が入るため、見かけ上の書き込みスピードが低下します。

ドライブ詳細設定

MRW フォーマットに対応する。（書き換え可能なメディア）

この設定は、マウントレイニア対応ドライブのみで表示される設定項目です。このチェックボックスをオンに設定すると、マウントレイニア規格に準拠した方式で CD-RW メディアのフォーマット、書き込みを行います。

CD-MRW（マウントレイニア）については、コラム・CD-MRW とは？をご参照ください。

クイックスタートに対応する。（DVD+RW メディア）

この設定は、クイックスタート対応ドライブでのみ表示される設定項目です。このチェックボックスをオンに設定すると、1分～1分30秒かかる DVD+RW メディアのフォーマットが、約40秒で終了します。

CAV に対応する。（Constant Angular Velocity : 角速度一定）

この設定は、CAV 対応ドライブのみで表示される設定項目です。このチェックボックスをオンに設定すると、CAV 方式を使用して CD-RW メディアへの書き込みを行います。

Note: CAV(Constant Angular Velocity : 角速度一定)とは？ドライブの内部のメディアを常に一定の速度で回転させる方式のことです。円周は外周ほど長くなるため、速度は内側ほど遅く、外側ほど速くなり、データの読み書き速度が変化します。記録速度・回転数がどの場所でも滑らかに移行するため、書き込み速度が変化した際の書き込み継ぎ目によるギャップが発生しないという利点があります。

テクニカル サ ポート

テクニカルサポートをご依頼になる前に、このユーザーズガイドまたはオンラインヘルプをご覧ください。これらのドキュメントには、このプログラムを使用する際に必要な一般情報が記載されています。また、ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

上記の方法で問題を解決できない場合は、弊社のテクニカルサポートをご利用ください。

Web のサポート

下記の Web サイト (1 日 24 時間ご利用可能) にて、各種問題の解決方法をご用意しています。

support.cyberlink.com

www.cyberlink.com

Q&A だけでなく、トラブルシューティングテクニック、最新の製品ニュース、その他の関連情報もご提供しています。

ファックスのサポート

ファックスでご連絡いただくことで、電話よりも短時間でテクニカルサポートをご利用いただくことも可能です。

(886) 2-8667-1300

íçÅF テクニカル サポート サービスは、登録ユーザーのみご利用いただけます。ファックスを送信する際には、CD ケースに貼付されている **CD キー**をご記入ください。

電話によるサポート

受付時間中、下記のテクニカルサポート ホットラインにお電話いただくことも可能です。

CyberLink テクニカルサポート情報

電話番号	(886) 2-8667-1298
受付時間	9:00 a.m. -5:00 p.m. 台湾時間 (GMT +8:00) 休日・祝日を除く、月曜日から金曜日

icAF テクニカルサポート サービスは、登録ユーザーのみご利用いただけます。お電話の際は **CD キー** (CD ケースに貼付) をご用意ください。

テクニカルサポートへお電話いただくときは、コンピュータの電源をオンにして次の情報をご準備ください。

- **登録済み CD キー**
- 製品バージョン
- システムにインストールされている Windows のバージョン
- システムで使用しているハードウェア デバイスおよび各仕様
- 警告メッセージが表示されている場合は、そのメッセージ文 (メモに書き取るか、スクリーン キャプチャを撮ってください)
- 問題の詳細な説明および発生状況